

令和4年9月22日（木）に愛知教育大学附属名古屋小学校の4年生を対象に、「水災害から命を守るために」をテーマとした防災教育支援を行いました。授業では、近年の大規模水害や東海豪雨の様子や、「流域治水」などの公的な対策について紹介し、水災害への理解を深めるとともに、水害を自分事として認識することの大切さを伝え、自分たちができる備えについて考えました。



授業風景



元気いっぱいの子供たち



災害への備えについて説明する高橋総括地域防災調整官

## 【対象校】愛知教育大学附属名古屋小学校 4年1組、2組、3組 87名

「命を守るために自分でできることは」という問いに対して、下記のような意見がありました。

- ハザードマップを見て、避難ルート、避難場所をお家の人と事前に相談しておく。
- 家の近くの高い場所を知っておく。
- 雨の日はもちろん、晴れている日でも、気象情報を注意して見る。
- 防災リュックを準備し、浸水しない高い場所や、持っていきやすい場所に置いておく。
- 避難するときは、瓦などでけがをしないように気をつける。